寄り道して見つける千葉の魅力

道で発見！ちば

千葉県PRマスコット
キャラクター　チーバくん
千葉県許諾 第A3-9号

今回の道

国道128号（その1）
館山市から勝浦市までの
約55.5kmを紹介！

第7回

国道128 ROUTE

その1（愛称：外房黒潮ライン）

国道128号鴨川市天面（あまづら）付近

《背景》鴨川市太海フラワー磯釣りセンター

▲鴨川市の「房州大橋」を渡る国道128号。並行して走るのはJR内房線。

外房の雄大な海岸線沿いを走る外房黒潮ライン。

国道128号は、館山市の北条交差点から千葉市の広小路交差点までを結ぶ、延長132.6kmの一般国道です。広小路交差点から東金市の台方交差点までの約28kmが、実は国道126号との重複区間になっていました。国道126号は、本誌の第1回ですでに紹介しているので、ここでは国道126号との重複区間を除いた、約105kmを2回にわけて走ってみたいと思います。「千葉県道路愛称制定委員会」により、1988年に「外房黒潮ライン」という、まさに外房の海沿いを行く道にふさわしい呼び名が付けられた国道128号。その第1回目の今回は、館山市の北条交差点をスタートし、勝浦市の国道297号（愛称・大多喜街道）と交差する峰山橋までの約55.5kmをドライブしました。片側1車線の道路は、のどかな住宅地の中を行き、時折コンビニやスーパーマーケットがある生活道路が続きます。館山市から、南房総市に入ると初めて「外房黒潮ライン」の標識を見かけました。待ち焦がれた海が見えてきたのは、そこから約1.7km先の国道410号と交差する安馬谷（あんばや）交差点を過ぎ、JR内房線※の踏切を渡り、和田町白渚海岸の斜張橋（しゃちょうきょう）が右側に見える辺りからです。和田浦駅を過ぎ、和田浦海水浴場の標識に迎えられてからは、外房の海岸線の地図通りに、右手に見え隠れする蒼く澄んだ海を眺めながらの気持のいいドライブロードです。街道沿いには、道の駅や鴨川シーワールド、勝浦海中公園など外房を代表する観光スポットが目白押し。ゴール地点の勝浦市に近づくにつれ砂浜だった海岸線は、次第に岩場が多く狭い湾が入り込んだリアス式海岸へと変わっていきます。ゴール地点手前の国道128号バイパスと国道297号がつながっているのは、以前は鴨川方面からだけでしたが、平成28年2月に交差点の改良工事が終わり、御宿方面からも通行できるようになりました。

▲交差点改良工事が完成し、便利になった「国道128号バイパス」勝浦市墨名地先付近。

※JR内房線／蘇我駅～館山駅～安房鴨川駅までの房総半島の東京湾側を走る約120km。JR外房線は、千葉駅～上総一ノ宮駅～安房鴨川駅までの房総半島の太平洋側を走る約93km。

館山市内の「千葉県南総文化センター前交差点」で国道127号・128号・410号の3本が交差します。

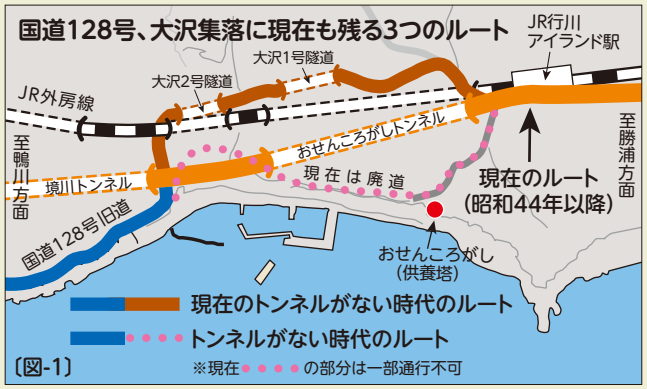
▲3本の国道が交差する、千葉県南総文化ホール前交差点

国道128号が、スタートして間もなく交差する「千葉県南総文化ホール前交差点」は、国道410号「北条バイパス」の起点、国道127号の終点でもあります。

▲千葉県南総文化ホール前交差点の案内標識

●おせんころがし

勝浦市大沢集落には、かつて外房屈指の難所といわれた断崖絶壁の景観が残る。



〔図-1〕

今回、国道128号のドライブの途中で、とても印象に残る場所を発見しました。それは、鴨川市と勝浦市の境に位置し、その昔は安房郡と夷隅郡の境界に当たり、外房の海岸沿いの道最大の難所と言われていた場所です。地元の人に尋ねてみると、「孝女お仙の碑」という供養塔が建っている左右数十メートルの断崖絶壁の箇所で、その難所の周辺を「おせんころがし」と呼んでいるそうです。1969年（昭和44年）に現在の新しいルート（国道128号）が完成し、「おせんころがし」周辺は外房の海岸沿いの難所ではなくなりましたが、今でも当時の面影が残る道が大沢集落に存在しています。現在のルートが完成する前は、断崖沿いを走っていた旧国道128号（青線）とつながる茶色で示した道路が使われていました（図-1参照）。2つのトンネル（大沢1・2号隧道）は、1921年（大正10年）に造られたものです。また、ピンクの点線で示した部分が、2つのトンネルができる前に使われていた道路です。おせんころがし供養塔を海側から見た左側が特に難所と言われていた部分で、現在は廃道になっていて通行することはできませんが、トンネルがない時代は断崖絶壁の幅2～3mの道を通行する危険な場所であったことを今に伝えています。

▲トンネルがない時代に使われていた道路のなごりが残る部分

▲孝女お仙の碑

道の駅 和田浦WA・O!
《裏表紙でご紹介》

▲白渚海岸の斜張橋

〖おせんころがしの由来〗

その昔、父親と暮らすお仙という娘がいました。成長と共に美しくなったお仙を評判の悪い代官が手元に置きたいと言い出しましたが、父親が拒否。それに腹を立てた代官が父親を崖の上から突き落とそうとしましたが、それを知ったお仙が身代わりになり、海に転がり落とされてしまいました。そんなお仙を弔うために「孝女お仙之碑」という慰霊塔が建てられ、崖周辺は「おせんころがし」の名が付きました。
※その他、いくつかの悲話が残されています。

Special Spot

▲断崖絶壁ぎりぎりを走る旧道

勝浦市大沢地区の景勝地「おせんころがし」の少し手前辺り。現在の国道128号より、さらに海側に狭い旧道があり、落差30m以上ある絶壁の下には外房ならではの紺碧(こんぺき)の海が果てしなく広がる、ダイナミックでスリリングな絶景地です。道幅が狭いのでくれぐれもご注意を!

●鯛の浦遊覧船

日蓮聖人生誕の地と伝わる鴨川市小湊の妙の浦。日蓮聖人の化身とも言われる神秘の天然記念物の鯛の群が、水面近くを泳いでいる様子を遊覧船に乗って眺めることができます。昔ながらの半纏(はんてん)姿で舵をとる船頭さんの姿も趣きがあり、大弁天島、小弁天島、五色妙記念碑など、鯛の浦の見どころを周遊します。

●営業時間／
4月～ 9月 8:30～15:50
3月・10月 8:30～15:20
11月～ 2月 8:30～14:50

●料金／
(展示館料金含む)
大人 950円(税込)
小学生480円(税込)

※通年営業はしておりますが、荒天時等によっては欠航の場合がありますので、運行状況はご確認ください。

●所在地／**鯛の浦遊覧船**
鴨川市小湊183-8
TEL.04-7095-2318

鴨川市イメージキャラクター
まっつー
©鴨川市2010

▲鴨川バイパス

●鴨川シーワールド

日常生活の中では触れ合うことのない、海の生き物たち。「海の世界との出会い」をテーマに自然環境を再現した生態の展示やパフォーマンスで、海に生きる命やそれらを取り巻く環境の大切さを学ぶことができるのが鴨川シーワールドです。太平洋を背景にくり広げられる海の王者・シャチのスーパーアトラクションをはじめイルカやベルーガ、アシカなどの人気パフォーマンスには常に歓声と拍手がわき起こります。また、2016年の2月には世界一小さい「ワモンアザラシ」の赤ちゃんが生まれました。海の動物とのふれあい体験や夜の水族館探検などのイベントも楽しめます。

▲ワモンアザラシの赤ちゃん(誕生当時)

●営業時間／Webサイトでご確認ください。
●休館日／不定休
●入園料／高校生以上2,800円(税込)、4歳～中学生1,400円(税込)、65歳以上2,100円(税込)

●所在地／**鴨川シーワールド**
鴨川市東町1464-18
TEL.04-7093-4803

●太海フラワー磁釣りセンター

太平洋に面した海岸線と花畑で知られる鴨川市にあり、南房総国定公園内にあるレジャー施設。1年を通じて季節の花たちが咲き誇る屋外の花壇は、まるで豪華な花畑です。全天候型の温室にはハイビスカスや熱帯植物などの花木が茂り、ブーゲンビリアの花の壁や巨大なサボテンも見応えがあります。また、太平洋に面した「海の釣堀」は、波が足元まで来そうな本格的磁釣り気分で鯛やウマヅラハギなどの魚釣りが楽しめます。さらに、犬猫(ワン・ニャン)ランドでは約40種類の犬や猫たちと触れ合ったり、ドッグランがあるので愛犬を連れてきて、思い切り遊ばせることもできます。

▲温室内の巨大サボテン

◎フラワーセンター

●営業時間／9:00～16:00(受付15:30まで)
●料金／中学生以上600円、小学生300円

◎犬猫ランド

●営業時間／9:30～15:30(受付15:00まで)
●料金(フラワーセンター ＋ 犬猫ランド共通券)／中学生以上1,200円、小学生600円
※価格はすべて税込価格です。

◎海の釣り堀

◆遊び釣りコーナー
●料金／500円
(貸し竿・エサ付)
●魚種／真鯛、ウマヅラハギなど
(魚種は季節により異なります)
※釣った魚は、戻して頂きます。
※釣った魚を持ち帰ることができる、買い取りコーナーもあります。

●所在地／**太海フラワー磁釣りセンター**
鴨川市太海浜 67 TEL.04-7092-1311

施設共通 ●休園日／年中無休 ※繁忙期、季節により、営業時間が変更になる場合があります。
※海の釣り堀では、台風や設備メンテナンス等がある場合は営業を中止する場合があります。

●勝浦バイパス

勝浦バイパスは有料道路でした!

「勝浦バイパス」は、国道128号のバイパスとして1978年(昭和53年)4月5日に供用された道路で、勝浦市街地を通過する旧道に対し、山側に迂回するルートになっています。開通当初は「勝浦有料道路」として有料でしたが、2008年(平成20年)4月5日に無料開放されました。

●勝浦海中公園 海中展望塔

勝浦海中公園は勝浦市にある海域公園で、1974年(昭和49年)に全国で40番目の海中公園に指定されました。周囲は岩場が多いリアス式海岸で、ウニやアワビなどが生息しています。公園施設の中心となるのは沖合い60mの場所にある東洋一の規模(高さは24.4m、水深は8m)を誇る海中展望塔です。らせん階段を伝って降りて行くと最下部には海中に向けて24個の窓があり、イシダイをはじめさまざまな魚や海の生物を眺めることができます。

季節によって回遊する魚の種類も違うので、行った時期によっては巨大魚に出会えるかも知れません。太平洋を一望できる海上展望室からの景観も壮快です。

●営業時間／9:00～17:00(受付16:30まで)
●休館日／年中無休(荒天の場合、閉館することもあります。)
●料 金／高校生以上960円(税込)、小・中学生470円(税込)、4才以上の幼児210円(税込)

●所在地／**一般財団法人千葉県勝浦海中公園センター**
勝浦市吉尾174 TEL.0470-76-2955

●道の駅和田浦WA・O!

出迎えてくれるのは、全長26mのシロナガスクジラの全身骨格標本!
捕鯨基地のまちならではのクジラ食材・グッズ・土産品も豊富な品揃え。

JR内房線・和田浦駅を過ぎるとまもなく、国道128号沿い左側に木肌を生かしたカントリー調の建物が見えてきます。駐車場に車を停めて店舗入口をめざすと、見えてきたのは巨大な恐竜の骨かと思うようなオブジェ。地球上最大の生物であるシロナガスクジラの原寸大骨格標本(複製)で、実際にノルウェーで捕獲され、博物館で保存されていた原骨格を元に完全復元された、世界で3体しかないレプリカのうちの1体だそうです。さすが捕鯨のまちの道の駅。食事処では、クジラの立田揚げやカツ、捕鯨基地だから提供できる希少な刺身までメニューに並んでいます。もちろん、和田浦の海の幸を堪能できる舟盛りの刺身も絶品! また、温暖な気候の南房総では花き栽培や農業も盛んです。直売所には、ついお土産を買い過ぎてしまいそうなくらい、新鮮な旬の野菜やクジラグッズがいっぱいです。館内にある、クジラの資料を集めたミニ博物館を覗いてみたり、和田浦の海へのんびりとお散歩も楽しめます。

▲シロナガスクジラの骨格標本(複製)

▲店内に吊り下げられたクジラのオブジェ

●所在地／
道の駅和田浦WA・O!
南房総市和田町仁我浦243
TEL.0470-47-3100

●営業時間／9:00～18:00

●定休日／不定休

駅長ご推薦! 人気の商品BEST3

1 和田浦くじコロ
1個 ¥150
オープン時から定番人気のクジラのコロッケ。クジラの挽肉ともっちりジャガイモのコロッケは揚げたてが最高!

2 くじらのたれ
1袋(40g)¥760
江戸時代から続く房州の名物。味付鯨肉を天日で干した鯨の干し肉。

3 落花生ジェラート
(濃厚・つぶつぶ)
各 ¥360
千葉県産の落花生本来の味わいを閉じ込めたオリジナルジェラート。

※価格はすべて税込価格です。

●道の駅鴨川オーシャンパーク

雄大な太平洋を眺めながら海の幸を満喫。
無料の足湯もある房総ドライブの嬉しい拠点!

鴨川市イメージキャラクター ななちゃん
©鴨川市2010

人の目をひく丸いピラミッド型の建物は、道路からもかなり目立ちます。聞けば、これは円形のコンクリートブロックが同心円状に広がる、鴨川名産のサザエをイメージしたユニークな設計。この建物は3階建ての構造になっていて、1階は鴨川の特産品や干物など、房総のお土産売り場、2階は太平洋に向かって大きく窓が開放されたレストランで、地魚や地元・長狭米などの食材を使った食事が楽しめます。さしみ定食などの定番メニューに加えて、海辺の道の駅らしくシーフードカレーがあり、人気のメニューとなっています。3階は展望テラスがあり、青い海と漁港などのオーシャンビューを堪能することができるようになっています。1月～4月は花摘み、7月下旬～8月には野菜の摘み取りなどの体験プログラムもあります。

▲海を見渡せる花壇は、季節の花々でいっぱい!

▲2階通路から見た1階の「物産館」

●所在地／
道の駅鴨川オーシャンパーク
鴨川市江見太夫崎22
TEL.04-7096-1911

●営業時間／9:00～18:00
11月～1月は17:00まで

●定休日／年中無休
(年2回程休館日あり)

駅長ご推薦! 人気の商品BEST3

1 手づくり天然ところてん
1パック ¥100
地元産の天草を使った手作りのところてんは1パック100g入り。酢醤油とからし付きでそのまま食べられます。

2 光り丼
1人前 ¥950
酢でしめたサンマやワラサを使い、シソやデンブ、錦糸卵で飾った光り丼は「鴨川おらが丼」とも呼ばれています。

3 亀屋の鯛せんべい
(プレーン味)
10枚入・1袋 ¥376
大正時代から小湊・鯛の浦にちなんで作られている郷土菓子。素朴で優しい風味。

※価格はすべて税込価格です。

《道で発見!ちば》今月の誌上クイズ!

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「道で発見!ちば」の第7回をご覧ください。

本号で紹介した国道128号は、JR内房線とJR外房線の線路と並走するように続いています。房総半島の太平洋側を通る路線が外房線。東京湾側を通る路線が内房線です。では、この内房線と外房線がつながる境界の駅はどこ?
次の3つから答えを選んでください。

① 安房鴨川駅
② 館山駅
③ 和田浦駅

正解は→① 安房鴨川駅

取材協力・写真提供・撮影協力／鯛の浦遊覧船　鴨川シーワールド　太海フラワー磯釣りセンター　一般財団法人千葉県勝浦海中公園センター
勝浦市教育委員会・社会教育課　道の駅和田浦WA・O!　道の駅鴨川オーシャンパーク

2016.4(次回発行／2016年5月20日)

京葉銀行 BANK

ホームページでもご覧いただけます。
京葉銀行　情報誌　検索